

経営概況

2019年3月期 第3四半期の業績

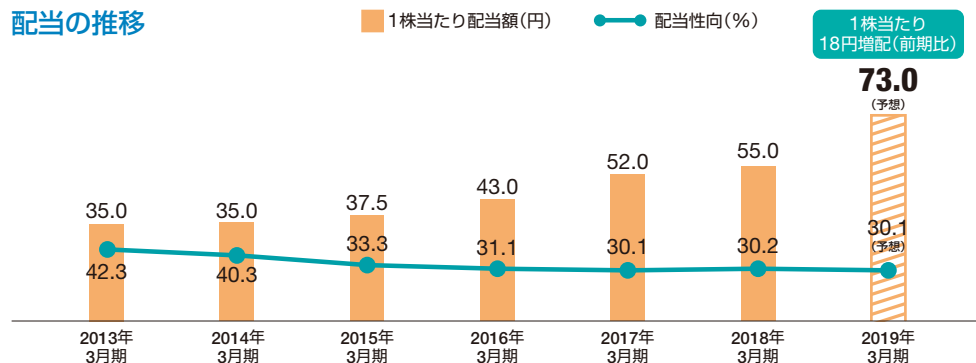
当第3四半期連結累計期間（2018年4～12月）におけるわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融緩和策の継続等を背景に、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調が続いております。一方、今後の景気については、米中の貿易摩擦による中国経済の減速や、英国の欧州連合（EU）離脱を巡る混迷等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）の主な事業分野である携帯電話等販売市場では、通信事業者による様々な料金プランの提供、サブブランドやMVNO（仮想移動体通信事業者）の普及により、お客様の選択幅が広がりました。そのため通信事業者はポイントサービスやコンテンツを充実させるなど、自社の長期的な顧客基盤の維持・拡大に取り組んでおります。このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は、一部販路における商流の変更や新機種の販売が想定を下回ったこと、ならびに政府が携帯電話料金の引き下げ余地について言及したことにより、買い控えが生じた結果、297.5万台と前年同期を下回りました。

当社では全社的な生産性向上に取り組んでおり、約400の全国の直営店舗および拠点を対象に業務のカイゼンを目指す社内コンテストを実施し、優良事例の全社展開を図っております。また、M&Aを含む案件の発掘、事業開発等、新たな収益基盤の構築を推進しております。当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高3,768億円（前年同期比6.0%減）、営業利益108億34百万円（同8.5%増）となりました。

当社グループでは、2017年12月に（株）クオカードを子会社化したことに伴い、前第4四半期（2018年1～3月）より同社損益を連結しております。当第3四半期連結累計期間において、営業外収益にカード返還益41億57百万円を計上した結果、経常利益は150億68百万円（同50.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は101億56百万円（同53.2%増）となりました。

配当の推移

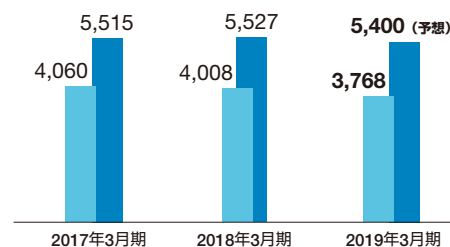


※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。

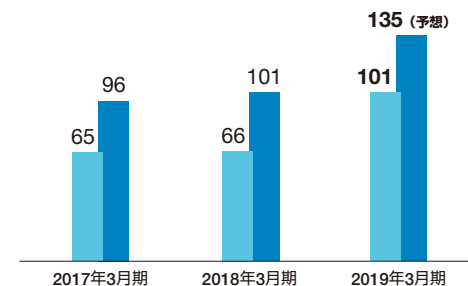
第3四半期連結業績ハイライト

■ 第3四半期(累計) ■ 通期 (単位: 未満切捨て)

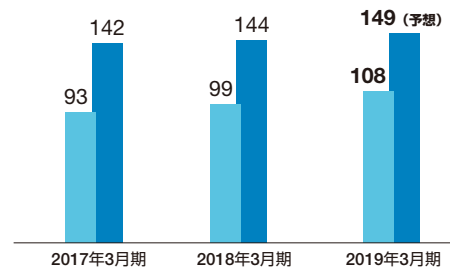
売上高 (億円)



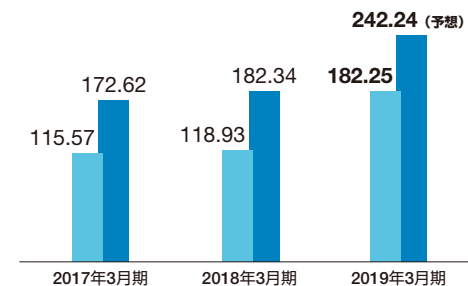
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



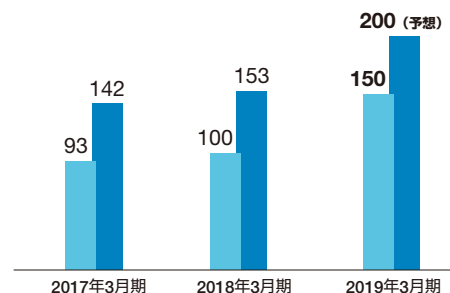
営業利益 (億円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



経常利益 (億円)



純資産 (億円)

